

小豆島中央病院だより



さくら香る春の日に
出会いと旅立ちの時

平素より当院の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

早いもので、2016年4月の開院から5年が経過し、6年目を迎えることとなりました。昨年度は全国的に新型コロナウイルスという未知の脅威との戦いに明け暮れる大変厳しい1年でした。特に12月には島内でも集団感染（クラスター）が発生し、感染症病棟には開院当初の想定を大きく上回る数の患者さまが入院され、毎日多数の患者さまが発熱外来を受診されました。その結果、一般病棟や一般外来の業務も強く圧迫され、病院業務全体に大きな負担がかかりました。十分な人員の確保ができていない中、また自分自身や家族の感染リスクという大きなプレッシャーの中、島の最後の砦として、職員全員が心を一つに、想いを一つにして、何とか難局を乗り切ったという状況です。

全国に335の二次医療圏（健康増進・疾病予防から入院治療まで一般的な保健医療を提供する区域で、一般に複数の市区町村で構成）が設定されており、香川県には3つの二次医療圏（東部・西部・小豆）がありますが、その外来医師偏在指標（人口10万人あたりの医師数の指標：平成31年2月時点）は、東部が全国14位（138.4）、西部が69位（111.8）といずれも外来医師多数区域となっている一方、小豆は334位（48.0）と全国で最も医師の少ない医療圏の1つとなっており、人員確保の責任者として忸怩たる思いです。開院前から現在に至るまで、香川県・香川大学と連絡を密に取り、再三再四、常勤医増員をお願いしてまいりましたが、残念ながら十分な確保には至っておりません。

しかし、この少ない人員体制の中ではありますが、当院職員は自己研鑽に励み、一丸となって「地域の皆さまに寄り添う病院」として、良質かつ適切な医療を提供し、皆さまから頼まれ、信頼される病院づくりに努めてまいりますので、引き続きご理解とご支援のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

小豆島中央病院企業団 企業長 佐藤 清人



- ・島内の中学校、こども園等で手洗い教室を行いました
- ・土庄小学校よりご寄附をいただきました
- ・栄養科より
- ・当院の面会について

当院の面会について

令和3年3月10日現在 感染対策委員会

日頃から当院の新型コロナウイルス感染症対策にご協力を頂き、ありがとうございます。入院患者様の面会につきましては、島内に新型コロナウイルス感染症の患者様が発生していない場合でも一貫して行っていますのでお知らせします。来院時には必ずマスク着用、手指消毒を徹底していただきます。

①面会は原則自粛です。

島内に発症例がない場合は島内のご家族のみ10～15分程度の面会は可能ですが、以下の点にご注意ください。

- ・発熱していない（37℃以下）こと、感冒症状等の自覚症状を呈していないこと
- ・新型コロナウイルス感染症を確定した方と接触していないこと
- ・島外への移動歴または滞在歴が直近2週間以内でないこと
（島外通勤者は発熱やその他自覚症状が無ければ可能）

☆病棟外（1階ふれあい広場など）で患者様との面会をご遠慮ください。

②患者様の急な容態変化や不穏行動で身体に危険がおよぶ可能性がある場合は面会を許可していません。

- ・発熱や感冒症状等の自覚症状を呈していないことが条件です。

③リモート面会は随時可能です。（15時～18時頃まで）

- ・午前中は入院患者様の処置などに対応していますので、15時以降にご来院ください。（当該病棟のエレベーターホールで1回につき3名まで、10分程度です）

④散髪は島内の理髪店に限り、条件付きで可能です。（15時～17時頃まで）

- （島内に感染者が発生した場合は原則禁止）
- ・病棟エレベーターホールで「業者用」の問診票を記入していただきます。
- ・病棟には事前に訪問時間等をお知らせください。

＊島外・県外者の面会はその都度病棟にご確認ください。

リモート面会の様子



面会自粛時のリモート面会の様子です。患者様に、ご家族の方にも我慢をお願いしています。

小豆島中央病院 オリジナル缶バッジ
1個200円
1個お買出しにて販売中！

小豆島中央病院LINE
LINE 友だち追加

小児Web予約もできる

当院の最新情報をお知らせしています。登録は簡単。右のQRコードをスマホ等でスキャンして、友だち追加をして下さい。ぜひ友だち追加をお願いします。

小豆島中央病院だより



土庄小学校よりご寄附を戴きました



全校児童たちが、毎月2回ブルタブ・アルミ缶を回収して集まった収益金を「コロナウイルス感染症に対する医療に役立ててください」と代表生徒4名より当院企業長に贈呈していただきました。

栄養科だより



春は樹木の花粉の飛散多く、鼻水・くしゃみ等、花粉症状が出始めます。花粉症は体の免疫が過剰に反応して症状が出ます。

花粉症 対策

- ・外出時には、マスク・眼鏡をしましょう
- ・帰宅したら、手洗いうがい、洗顔をして花粉を落としましょう
- ・免疫力を保つために、規則正しい生活、睡眠をとりましょう
- ・お酒は血管を拡張させ、粘膜が腫れて鼻づまりの原因になるので飲みすぎないようにしましょう
- ・タバコは、煙に含まれる有害物質が鼻や目の粘膜を刺激するので控えましょう

3月の行事食 ひな祭り



- ・ちらし寿司
- ・うめしゅ
- ・壺の炒り煮
- ・ひなまつりゼリー

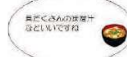
免疫力を高めるためには！！



バランスの良い食事を摂る
主食（ごはん、パン）、主菜（肉、魚、卵、豆腐）、副菜（野菜）が揃った食事を心がける

腸内環境を整える

- ・体内の腸内環境を整える善玉菌（乳酸菌やビフィズス菌）を増やす
《ヨーグルト、チーズ、味噌など》



水溶性食物繊維を摂る

水溶性食物繊維は、善玉菌の栄養源となり増殖させ、有害物質の生成を抑える働きがあります
《野菜、海藻、きのこなど》



4階療養病棟

今回の壁画は「おひな様」です。
桃の節句とも言われる女の子の健やかな成長を願うお祭りですが、起源は300年頃の古代中国で起こった「上巳(じょうし/じょうみ)節」で、春を寿ぎ、無病息災を願う厄払いの行事でした。
おひな様にあやかり元気にすごせますように・・・



5階西病棟

「手洗い教室」

島内 中学校、こども園等にて



かめさんのポーズ



みんな一生懸命練習しました



お山のポーズ



つかまえたのポーズ



手洗いきちんとできるかな？



なぜ、手を洗わないとばい菌は取れないの？



クイズに元気に答えます



真剣に聴いています



オオカミのポーズ



きれいになりました



ブラックライトで手洗いチェック！

島内の中学校、こども園などで
感染対策の手洗い教室を行いました。



未だ収束の見通しが見えない新型コロナウイルス感染症対策としての『手洗い』を今一度見つけなおす機会として、当院の感染対策室より感染制御実践看護師 唐橋真理子が、紙芝居、手洗い歌、クイズによる講習を行いました。子どもたちの真剣なまなざしに勇気付けられながら、この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻りますように願います。

